



第12号

平成19年2月5日発行

# いき議会だより

ガンバレー!!

ファイトー!!

がんばってー!



◆ 決議・報告

廃棄物処理に関する決議  
議員の定数に関する報告

16P

★ 追跡

あん質問などえんになった?  
病院経営改善委員会設置

15P

● 一般質問

長田市政を質す!  
10人が登壇

10P

■ 補正予算

機構改革関係予算に  
1,988万円

8P

● 議案質疑

どう変わる?  
副市長の権限

6P

★ 体験

議会に行ってきました!  
盈科小学校6年生のみなさん

2P

第9回小学生駅伝大会  
(12月3日)

# 体験!

## 議会に行ってきました!

～盈科小学校6年生のみなさん～



### 議会を傍聴して (12月8日 一般質問を傍聴)

- 壱岐市議会で壱岐の議会を見ました。壱岐のことがよく分かりました。ありがとうございました。
- 壱岐市議会では市長さんより議長さんの方が高いところに座っていたので、おどろきました。
- 私は市議会を見学して、議題が難しかったけど、議員さんたちは壱岐のことを考えてくれているんだなあと思いました。
- 壱岐市議会があっていました。内容は分からないけど、大人になったら真剣に考えないといけないと思った。
- 話し合いの議題が難しかったです。だから途中からすぐくまくなりました。おもしろい質問がありました。
- 壱岐市議会を見て、すごくねむくなりました。壱岐市議会の人はよくねむくならないなあと思いました。
- 私は市議会でもめることがあるのかと思っていたら、もめごとがありませんでした。生で見てもすごかった。
- 地下水が塩水になるのではないかと議員さんが言っていたとき、「僕たちのことを考えてくれているんだ。」と思いました。
- 議会では壱岐の色々なことを話し合っていて1人40分も壱岐のことを発表しているなんてすごいと思いました。
- 議会では壱岐のことが色々話し合われていて、市民のこととかを考えてくれてすごいなあと思いました。
- 市議会では40分間の間に発表していました。それに、手を挙げて言っていました。私も学校で手を挙げられたらいいな。
- 最初のイメージは議員はとても厳しいと思っていたけど、議会は途中、笑いも入って少し楽しい場所でした。
- 初めて見学に行きました。壱岐ではあの人数で色々なことが決められているんだと分かりました。
- 始まったときは「朝ご飯」など、ちょっと軽く始まったのですが、話が本題に入るにつれて空気が変わっていく。
- 議会の内容がいまいち分かりませんでした。この人たちが壱岐の決まりをつくるんだからすごいと思いました。
- 今日、議会がありました。色々話していた。ずっといると飽きた。しかも寝ている人がいなかった。
- 私は議会というものに最初から興味を持っていました。それで議会が見られたのですごくいい経験になりました。
- 議会で色々な話し合いをしていたけど、僕は付いて行けません。議会は難しいと分かりました。
- 私は静かな場所が嫌だから、議員にはなりたくないと思いました。
- 壱岐市議会に行くと、あんまり話の意味が分からなくて何のことを言っているのかわからなかった。議長たいへん。

# 臨時会の概要

月日	会議の種類	会議内容	市役所の位置を定める条例の一部改正を可決
11/20(月)	議案の上程 説明・質疑	吉岐市役所の位置を定める条例の一部改正など、条例の一部改正3件、工事請負契約の締結1件、計4件を上程、説明後、質疑。	<p><b>反対1</b>      <b>賛成24</b></p> <p><b>反対討論</b></p> <p>本気で行財政改革をする気があるなら、50年先の将来を見据えて一日も早く集約すべき。悠長な分庁方式はやるべきでない。</p> <p><b>vs</b></p> <p><b>賛成討論</b></p> <p>庁舎を建設するにしても、今の厳しい財政ではできない。4町経済の平等化・活性化ということもあり、分庁は避けて通れない。</p>
	討 論	町田光浩議員が反対討論、赤木英機議員が賛成討論。	
	採 決	吉岐市役所の位置を定める条例の一部改正は記名投票により、反対1票、賛成24票(市町村の事務所の設置・変更に関する条例は出席議員の3分の2以上の同意が必要)により可決。ほか全議案可決。	

# 定例会の概要

月日	会議の種類	会議内容	用語の説明
12/1(金) (初日)	行政報告	一般廃棄物処理施設整備などについて報告(詳しくは4ページに記載)。	市長が市政全般について報告します。
	議案の上程	報告1件、条例の一部改正4件、補正予算8件、決算認定11件、その他3件、計27件を上程。	市長から出された議案を議題に上げて、審議の対象とします。
	議案説明	計27議案を説明。	市長から議案の提案理由と内容について説明を聞きます。
12/6(水)	質 疑	副市長の権限などについて質疑(詳しくは6・7ページに記載)。	議案の分からない点や詳しく知りたいことについて、市長から説明や意見を聞きます。
12/7(木) 12/8(金)	委員会付託	3つの常任委員会と2つの特別委員会に付託。	議案の議決に先立って、さらに詳しく審査するため、所管の委員会に審査を付託します。
	一 般 質 問	10人が質問(詳しくは10～14ページに記載)。	議員が市長に対して、市政全般に対する質問や政策を提案したり、市長の考えを聞く政策論争の場です。
12/11(月)	常 任 委 員 会	総務文教常任委員会、厚生常任委員会、産業建設常任委員会で審査。	議案について各分野ごとに分かれて、専門的に審査します。
12/12(火)	予算特別委員会	10人の委員による、平成18年度吉岐市一般会計補正予算(第5号)の審査。	一般会計予算を審査します。
12/13(水)	決算特別委員会	10人の委員による、平成17年度吉岐市一般会計歳入歳出決算認定の審査。	一般会計決算を審査します。
12/19(火) (最終日)	委員長報告	総務文教常任委員長、厚生常任委員長、産業建設常任委員長、予算特別委員長が報告。	委員会での審査を終えた議案などを本会議の議題にすると、委員長から審査の経過と結果について報告します。
	討 論	反対討論、賛成討論なし	議題となっている案件が採決される前に、議員が賛成または反対の意見を表明します。
	採 決	条例の一部改正4件、補正予算8件、決算認定10件、その他3件、計25件が可決。決算認定1件は継続審査。	議長が、議案に対する各議員の賛成または反対の意思表示を求め、可否を決めます。
	追加議案審議	工事請負契約の変更1件、補正予算1件、計2件を追加上程。	会期中に、追加して出された議案について、説明、質疑、討論、採決を行います。
	選 挙	長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員に指名推選で町田正一議員が当選。	出席議員全員の同意があった場合に限り、投票を用いずに、あらかじめ指名した者を当選人とする方法を指名推選といいます。
	発 議	吉岐市における廃棄物処理に関する決議を提出(詳しくは16ページに記載)。	議員が議案を提出することをいいます。
	委員長報告	議会運営委員長、一支国博物館(仮称)建設等に関する調査特別委員長が報告(詳しくは16・17ページに記載)。	委員会調査事項の中間報告を行います。
採 決	工事請負契約の変更1件、補正予算1件、発議1件、計3件が可決。		

国民健康保険の38%を占めております75歳以上の後期高齢者の医療費の問題について、今回全国に先駆けて長崎県は後期高齢者医療広域連合を結成するわけですが、離島や過疎地域の負担割合が現在よりも多くなるのではと懸念しております。そういった意味で、私はこの議会で離島の立場を強く主張していきたいと考えています。



町田 正一議員

**長崎県後期高齢者医療  
広域連合議会議員に  
町田正一議員を選出**

# 市長行政報告

## 産業経済部

### 壱岐市観光大使

壱岐に愛着を持つ壱岐出身者あるいは壱岐に縁のある方で、ボランティアとして壱岐を国内外に紹介し、観光振興に努めて頂ける方を委嘱。



11月22日付で委嘱された林田ひろみさん（広島県在住）

## 総務部

### 市長と語ろう会

「地域の課題と市への提言」というテーマでH18年9月～11月にかけて5団体と開催。



「ぼちぼちこう会」との座談会  
(9月20日 柳田地区公民館)

## 市民生活部

### 焼却施設

焼却施設（粗大ゴミ・リサイクル・最終処分場を併設）は現在稼働中の施設の中で協議中。



島内で稼働中の焼却施設

## 市民生活部

### 汚泥再生処理施設

汚泥再生処理施設は郷ノ浦町浄化センター近隣に設置することで地元公民館に合意を得た。



郷ノ浦町浄化センター（郷ノ浦町坪触）

## 病院関係

### 人工透析

H18年10月から非常勤体制となり、壱岐出身の蓑田先生を招聘、月曜と火曜に診療。



市民病院の人工透析室

## 教育委員会

### 養護学校分教室

養護学校分教室の開設に向け、教室・トイレの改修・改造に着工、3月9日には工事完了予定。スロープの設置、和室の改修は業者が決まり次第、学校・保護者に対し、説明会を開催予定。



「これなあに?」「スロープができるんだって!」(盈科小学校)

## 病院関係

### 経営アドバイザー

市民病院の経営健全化、かたばる病院の医療改革に指導・助言を頂くため、経営アドバイザーとして壱岐出身の方に要請(詳しくは6ページに記載)。



H19年1月1日付で着任した市山勝彦さん

## 病院関係

### 市民病院経営改善委員会

院長以下病院内各部署代表37名で発足、経営改善を目指す。



市民病院経営改善委員会(10月23日)

## 消防関係

### 長崎県ドクターヘリ

医師が必要と判断した場合で昼間のみ運航。(夜間は海上自衛隊ヘリで搬送)12月1日より開始。



長崎県ドクターヘリ運航開始前実地訓練(11月13日 大谷公園グラウンド)





宿題もう終わったよー！（学童保育はなまる教室）

## 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理

**Q** 今の助役の任務と副市長との地位、役割、職務権限はどう変わるのか。

**A** 副市長と助役の職務の違いは基本的には変わらないが、市長の命を受けて政策及び企画について、より積極的な役割を担い、現行の助役に比べて、副市長の権限がより強化された。

## 平成十八年度壹岐市一般会計補正予算（第五号）

**Q** 放課後児童健全育成事業の内容と利用状況は。

**A** 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合、小学校の低学年を放課後預かる施設で、「はなまる教室」と「えむ・ほうす」に民間委託をしており、各二十名前後利用。

**Q** 老人の入湯券の平成十六・十七・十八年度の利用状況を。また、入湯券の配付方法は。

**A** 平成十八年度は一人十五枚を十二枚に削減し、利用者一割の減を見込んでいる。配付方法は四町の調整の中で基本的に本人交付、または家族や代理人交付。

### ○入湯券の利用状況

年度	16年度	17年度	18年度（見込）
枚数	85,036	87,456	78,000

# くわしゅう

### ○合併処理浄化槽の整備状況

年度	15年度	16年度	17年度	18年度（見込）
基数	137	115	104	126

### ○合併処理浄化槽の人槽別総数

人槽	5人	7人	10人	11～20人
基数	115	252	53	40
人槽	21～30人	31～50人	51人以上	合計
基数	13	7	2	482

**Q** 合併処理浄化槽の平成十五年～十八年の整備状況は。

**A**

### ○合併処理浄化槽の年度別補助金額

年度	15年度	16年度	17年度	18年度	合計
補助額（万円）	9,112	7,618	7,819	9,359	33,911

**Q** 未利用資源施肥試験事業の内容は。現在の焼酎かすの処分方法は。

**A** 焼酎メーカー七社総排出量で五千三百四十五トン、平成十六年度までは海洋投棄で三千六百六十五トン、飼料・肥料が千六百八十トン。海洋投

棄が平成十九年三月末までなのでメーカーも平成十八年九月芦辺町に処理施設を建設し、飼料・健康食品に活用できないか研究中。市としても焼酎かすを加工せず肥料として活用できないか錦浜、あるいは筒城浜の保安林に一〇m×一〇mの一〇〇㎡、試験区を設けて溝を掘って流し込み、その生育状況を試験的に実施。

**Q** 病院事業経営アドバイザー委託料の内容は。

**A** アドバイザー候補者として壹岐出身で国立病院の事務長経験者、六十歳の方々に内諾済。勤務



壹岐焼酎飼料(協)工場  
(芦辺町箱崎大左右触)



永田ダムのナックシステム



形態は週四日以上で一カ月に十六日以上、業務内容は市民病院、かたばる病院の経営の健全化、医療改革の対応やコストの削減等の助言を頂くようにしている。

**Q** 年間のごみ収集運搬処理業務委託料は。委託と直営との比較はどうか。

**A** 年間の委託料は二千八百三十二万九千円。旧郷ノ浦町の民間委託は収集運搬だけであり、ほかの旧三町は壱岐市環境管理組合に委託し、業務は

収集運搬、粗大ごみ・可燃物類・リサイクル品の分別、プレス作業等実施をしている関係上、比較は大変難しいが、調査の結果、市環境管理組合は、ほとんどが人件費なので民間よりも高い。

**Q** 野犬捕獲業務委託料の一頭当たりの種類別金額と捕獲頭数の推移、委託業者は何社か。

また、野犬被害の責任補償先はどこか。

**A** 公募による委託で北部(勝本、芦辺)に一社、そして南部(郷ノ浦、石田)に一社。県によると野犬は所有者不在のため、誰も責任を負わないので市民への被害が出ないよう今後も飼い主への指導の周知、野犬撲滅に努力する。

## 議案質疑

# もうちょっと

### ○野犬捕獲業務委託料(円)

種類	野犬	死亡犬	引き取り 依頼犬
1頭当たり	11,000	5,500	4,100

### ○野犬捕獲数

年度	16年度	17年度	18年度(見込)
頭数	157	138	168

**平成十八年度 壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算(第三号)**

**Q** 永田ダムのナック(空気圧縮機オゾン発生器)修繕工事の概要と装置の機能、管理状況は。

**A** 永田ダムから沼津柳田簡易水道へ送水しているが、永田ダムの水質の悪化により平成十三年度加圧式浮上方式で普通の浄水場と同機能をもたせ、二十四時間連続運転でオゾン殺菌をするナックシステムを導入。年間管理費は約千三百八万円。維持管理は年に二回。

**Q** 職員、嘱託職員等の格差是正の状況は。

**A** 旧四町、旧広域圏町村組合から引き継いだ正職員には、現在調整すべき格差はない。旧国立療

養所壱岐病院の職員は、職務の級を旧町などの職員レベルに近づける調整を平成十八年四月の給与構造切りかえ時に行った。現在本市の嘱託職員は百八十九名であり、旧町よりそのままの身分処遇で市へ引き継がなければならなかったことから、報酬額の職種ごとの定額設定ができていない。他の自治体の運用方針や法的解釈に基づく適正な任用方法、給与体制等について現在内部で研究を行っている。なお、臨時職員にも格差はない。

### 石田スポーツセンター(仮称)建築主体工事請負契約の変更

**Q** 工事請負契約の変更の理由は。

**A** 当初は体育館と計画していたが、県建築課より体育館の観覧席の床面積が二〇〇㎡以上、または固定席があるため集会所としての指導を受け、防火設備等の設備を追加したため。

**Q** 建設途中の用途変更とは、申請段階の設計業者のミスであり、ペナルティを課すべきでは。

**A** 当初計画段階の確認不足、また内容等について精査が十分でなかったことを謝罪する。ペナルティは設計業者とは話していない。



建設が進む石田スポーツセンター(仮称)

# 機構改革関係予算に1,988万円

## いちご雨よけ育苗施設に345万円



いちご雨よけ育苗施設

## 耕作道舗装に3,254万円



21世紀型ほ場整備地区内の耕作道

## 排水路整備工事に4,891万円



桜木地区排水整備工事(芦辺町箱崎大左右触)

### ● 一般会計 (12月補正総額2億706万円) (万円)

<b>機構改革関係経費</b>	1,988
物品等運搬料、電話移設、庁舎修理経費、ネットワーク設定委託、各種電算端末機移設経費、防災行政無線移設費	
<b>生活バス路線等運行対策費補助金</b>	235
<b>高齢者・障害者住宅改造事業費補助金</b>	220
<b>デイサービスセンター整備事業</b>	132
郷ノ浦デイサービスセンター外構工事	
<b>外出支援サービス事業委託</b>	300
<b>病院事業経営アドバイザー委託</b>	66
<b>合併浄化槽設置整備事業</b>	1,276
合併浄化槽設置補助金	
<b>園芸ビジョン21対策事業</b>	345
いちご雨よけ育苗施設補助1.4ha	
<b>低コスト肉用牛生産特別事業補助金</b>	962
繁殖牛飼育施設補助(2戸)	
<b>ふるさと振興基盤整備事業</b>	3,254
21世紀型ほ場整備「沓岐地区」耕作道舗装	
<b>森林病虫害防除事業</b>	210
抜倒駆除委託(焼却122㎡)	
<b>海藻バンク設置事業負担金</b>	350
勝本町天ヶ原沿岸海藻バンク設置 0.8ha	
<b>新世紀水産業育成事業</b>	607
水産加工近代化対策事業補助、保管庫用冷凍機(郷ノ浦漁協) 脱ばん機購入(箱崎漁協)	
<b>排水路整備工事</b>	4,891
桜木地区排水整備工事、設計委託	
<b>県営道路整備事業負担金</b>	1,575
くらしの道緊急改良事業 舗装補修事業	
<b>県営港湾整備事業負担金</b>	125
勝本港 防塵フェンス改修工事(タンス地区)	
<b>安全で災害に強い地域づくり推進事業助成</b>	100
久喜西部婦人防火クラブ初期消火活動器具購入	
<b>校舎耐震優先度調査委託</b>	427
市内小学校 18校	
<b>校舎等改修費</b>	1,259
沼津中学校体育館屋根改修工事	
<b>コミュニティ助成事業</b>	160
ふれあいの森広場(石田)遊具新設工事	
<b>給食用調理器具購入</b>	140
郷ノ浦町給食センター フードスライサー1台(更新)	
<b>公共土木施設災害復旧事業</b>	3,958
(補助)道路12ヶ所、河川2ヶ所 (単独)道路7ヶ所	

### ● 特別会計 (12月補正総額2億5,119万円) (万円)

<b>簡易水道施設改修工事</b>	1,280
谷江川可動堰補修工事 永田川NAC補修工事	
<b>漁業集落排水施設整備事業</b>	3,958
芦辺漁港 排水処理施設 終末処理場建設工事(機械)	

# 12月補正予算ピックアップ

## どんな事業があるの？

### 遊具の新設に160万円



新設される予定の遊具

### 体育館の屋根改修に1,259万円



改修が急がれる沼津中学校体育館の屋根

## 17年度特別会計決算認定審査

### 厚生常任委員会審査意見

- 特別養護老人ホームについては、現在100名の入所者のほかに60名の待機者がある。また、平成21年度末には医療制度改革により病院の療養型病床が現在の6割に削減され、さらに入所希望者の増加が見込まれる。昨年の決算審査の折、施設の老朽化と入所者の安全性等を考えたとき「もっとゆとりのある場所に早期の移転建築が必要である」と指摘していたが、いまだに検討されていない。
- 本年度の事業決算では、87,927,781円の残金が生じているが、基金積立額は僅か283,633円である。積立金の予算額をさらに増額し、基金の積み立てを図られるとともに、施設の移転建設について早急に検討する必要がある。
- 特養ホーム事業特別会計には財政調整基金と施設整備資金と合わせ、現在4億858万円の基金が積み立てられており、これらの活用を考えられたい。

### 産業建設常任委員会審査意見

- 水道使用料の徴収については鋭意努力されているものの、過年度からの滞納や高額滞納者も見受けられ、年々滞納累増の傾向にある。
- 徴収に当たっては現場へ出向き、訪問徴収や分納誓約を結ぶ等、滞納金の厳正かつ的確な処理体制の確立を図る必要がある。
- 特に悪質な滞納者に対しては、給水停止等の措置も視野に入れ、徴収に有効な手段を積極的に講じて、未収金の早急な解消に向け、なお一層の努力を尽くされるよう要請する。

# 一般質問

牧永 護 議員



育所・幼稚園のうち、郷ノ浦町内にある僻地保育所だけが時間延長されていない。保護者の要望も多く、早急に実施すべき。

**Q** 僻地保育所の充実

本来、児童の保育は家庭でと思っていたが、今の社会情勢を考えると、保育所等の充実が止むを得ない。市内における保

**A** 長田市長

平成十八年度から市内全幼稚園で延長保育を実施している。昨年までは僻地保育所の地域から要望も上がっていなかったが、最近要望があり、アンケートをとった。その

結果、半分以上の希望があったので、新年度に実施する方向。

**Q** 三島地区の格差是正

三島地区においては本島との地域格差が著しい。三島架橋が難しい現在、何らかの手を打つべき。

中学・高校生の学習クラブ活動にも問題が出ている。本島に職を持つ市民にとっても、現在のフェリー時間では支障がある。フェリー時間の延長も含め、何らかの対策をすべき。

**A** 長田市長

フェリーの発着時間については平成十四年二月、三島航路事業運営委員会において決定している。時間延長は国土交通省の許可があれば可能。

豊坂 敏文 議員



②市民の窓口との連携を重視するための配置換え。  
③議会承認後に開催予定。

**Q** 行財政改革は経費節減

平成十九年一月一日執行予定の分庁方式の採用について。

- ①現本庁と旧郷ノ浦デイサービスセンターの活用策は。
- ②市民部局に税務課の編入理由を。
- ③地域審議会への事前協議は。

**A** 長田市長

①現本庁舎は、企業誘致施設とし、旧郷ノ浦デイサービスセンターは、こどもセンターとしての活用を計画中。

**Q** 公共施設の管理

①保育所（初山・芦辺・勝本）の園児の安全対策強化を早急に。

- ②老人憩いの家（勝本・新城・立石）の老朽化に伴う補修をすべき。
- ③鯨中体育館の剥脱対策と鯨小グラウンド横の倉庫兼便所の改修策は。
- ④勝本地区公民館改修・旧消防格納庫の解体は。

**A** 長田市長

- ①緊急度、危険度の高いものから実施する。
- ②管理・保全是地元負担。但し特別な事情については検討し、対処する。
- ③計画的に対処する。
- ④勝本浦地区街なみ環境整備事業で来年度から年

次的に着工する。

**Q** 再建支援

吉岐カントリー倶楽部（株）と吉岐・対馬フェリー（株）の再建に具体的な支援策は。

**A** 長田市長

ゴルフ場は観光と雇用の両面を考慮し、いち早い再生を願い、対処する。フェリーは市にとっても生活・産業経済面から公共性があり、各種団体から要望も来ており、民事再生を待つて対応する。



お父さんお母さん早く迎えに来て！（志原保育所）



博多へ向け出港（芦辺港）

## 近藤 団一 議員



現在、財政状況も逼迫ひっぴくしている中で、新庁舎建設に合併特例債の活用を図っても、市は三割の負担が生じるため無理ではないか。

## Q 新庁舎建設問題

国・県はもとより、吉岐市を取り巻く社会情勢も合併当初とは大きく変化している。

市民は本庁・分庁体制に関係なく、新庁舎建設よりも利便性とサービスの向上だけを望んでいる。例えば、IT※1技術導入により細々とした住民サービスは対応できることから、大きな視野に立つ

て、早期にどちらかの決断を。

## A 長田市長

市庁舎建設懇話会の基本構想(案)において、合併特例債の活用も含め、いくつかの事例が提案されたが、市への負担が大きく現段階では財政的に困難。当面は分庁方式により組織機能を見直し、行財政運営の簡素効率化を図り、市民ニーズ※2に対応する。  
また、各支所庁舎も老朽化が進み、補修費等がかさむため、いずれかの時期には建設すべき。

## 市山 繁 議員



差額があれば、公募債※1を発行しても、すばらしい島を守るために市民に協力を願い、市有地とすべき。

## Q 採石場跡地

①産業廃棄物持ち込み反対の署名簿が県知事手渡されたが、今後の市長の対応と真意は。

## A 長田市長

⑤市の重要問題である産業廃棄物持ち込み禁止条例を制定し、島内産廃の処理施設計画を早急に。  
①市にとって死活問題であり、島外からの産廃の持ち込みは反対。産廃処理施設設置に関する県への事前協議がなされたら、住民投票など反対運動の輪を広げ、阻止することが必要。  
②市民の意見を集約し、産廃業者に理解を求め、各種団体などで設置してほしい。  
③価格の面で折り合いが付かず、

購入は断念した。提示額によつては今後考える必要も。現在は水源確保よりも有収率※2を上げるため、漏水対策を講じている。  
④実施してみたいが、現段階での活用は無理。  
⑤条例制定は県の適正処理指導要綱に抵触する恐れがあり、県などと協議をしながら慎重に考えてい。



吉岐市役所

※1 コンピュータやデータ通信に関する技術を総称的に表す語。  
※2 必要。要求。需要。

④採石場跡地は水源確保の経緯もあるが、今回は状況が違う。市民へ安心感を与えるため、水源確保も含め全面的に代表者間で買い受け交渉しては。

※1 地方自治体が特定事業で必要とする一部の資金を、住民に提供してもらう地方債のこと。  
※2 配水量(浄水場で作られた水量)に対する、有収水量(使用された水量)の割合。



採石場跡地



**Q** 課税の平等化

平成十八年度より勝本町は固定資産税が高くなつた。理由は平成十七年度で地籍調査が終わつたので、新しい評価によって引き上げられた。勝本町内で一年間に四百八十

一万円高くなった。郷ノ浦町、芦辺町は前のままなので、行政の不公平では

**A** 長田市長

地籍調査が終了した地区より新地籍での土地評価を行うことで、合併時に協議済み。芦辺町が平成二十二年度、郷ノ浦町が平成二十七年度に地籍調査完了予定で、それぞれ完了後から新評価を行う。

**Q** いじめ問題

最近、ニュースでいじめや自殺問題が多く取り上げられているが、市内では

**A** 須藤教育長

いじめを起ささないことが第一という認識に立ち、次の三点について指導・対応を実施中。  
一、問題の早期発見のため

に、定期的な質問調査・個人面談・校内巡視等。

二、学校を訪問し、教職員へマン・ツー・マンの指導。  
三、道徳の年間指導計画を作成、週一時間の道徳授業。

**Q** 一支国博物館建設計画

一支国博物館(仮称)建設等に関する調査特別委員会にて、設計業者の説明で、「屋上のムカデ芝をゼネコン<sup>※</sup>に試験植栽をしてもらう。」とあったが、設計もできていないのに業者が決定しているのか。

**A** 長田市長

設計業者が県、市の協力により、試験を行う。  
※土木・建築工事の一切を請け負う、大手の総合建設業者。



**Q** 大切な地下水を守れ

島内の地下水依存率は非常に高く、まさに市民の命と直結している。今後、地球温暖化による海面上昇に伴い淡水レンズ<sup>※1</sup>の厚みはなくなると予測されるが、地下水について全体的な状況をどのほど把握し、何らかの調査・研究は。

**A** 長田市長

水道用地下水の井戸五十四本中十四本は水位計を設置し、調査している。今後も逐次設置し、水位の把握に努める。また、

井戸の取水量の低下があった場合は内部を洗浄し、揚水量を確認して地下水量の把握をしている。淡水レンズについては勉強し、取り入れられるものは取り入れていく。

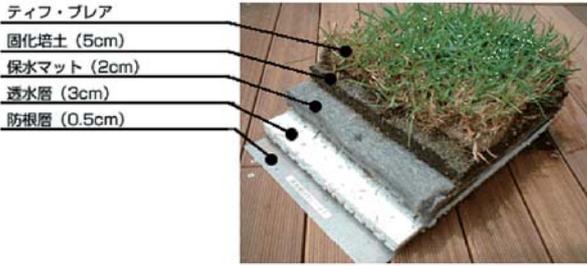
行政改革推進委員会による点検を受け、状況を市ホームページ上で公表している。進捗状況は、どちらかといえば遅いと感じている。機構改革による影響はない。  
職員への取り組みとして、行政経営研修・財政研修等を実施している。

**Q** できるのか 財政改革

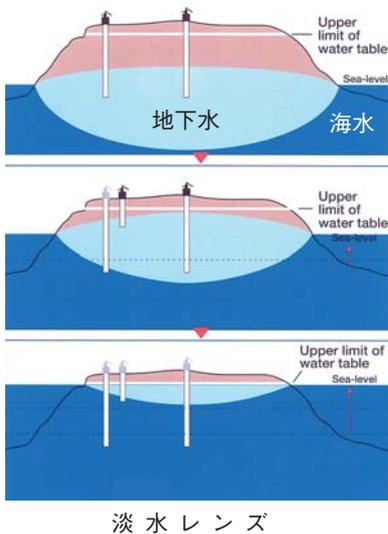
吉岐市行財政改革実施計画(集中改革プラン)の目標達成への進捗状況をどのように認識しているか。また、分庁方式へ移行することによる影響は。職員意識改革、縦割り<sup>※2</sup>行政の改善をどのように進めていくのか。

**A** 長田市長

※1 透水性の岩石からできている離島の地下で、地下水(淡水)が海水(塩水)の上にレンズ状の形で浮いているものをいう。  
※2 組織が上下関係を中心に運営されること。



ムカデシバ (写真提供: タキイ種苗株式会社)



産業廃棄物の島内持ち込みに反対する署名簿

壱岐市長 長田 徹 様  
壱岐市議会議長 深見 忠生 様

- (1) 市長及び市議会は、国分地区周辺での産廃施設建設計画については、島民の命と生活を守るため、壱岐市水道水源保護条例の適用を含め、総力をあげてこれを阻止して下さい。
- (2) 産廃物全般について壱岐市は(リサイクルや医療廃棄物、廃車、家電製品等々の例外的な物を除き)「島外に持ち出さず島内に持ち込まない」という地域内処理大原則を実現すべきです。そうすれば壱岐は全国的モデル地区となります。それを裏づけるために、新たに「産廃物の地域内処理に関する壱岐市条例」を制定するように求めます。
- (3) 万が一の場合として県が国分地区周辺への産廃施設を許可した場合、市長と市議会は壱岐全市民と一体となって、住民投票の実施をもって計画阻止へ立ち上がるように求めます。

以上ここに、壱岐市島民の意志として、2万人の署名簿の写しを提出いたしますので 各要望事項については充分検討の上、対処下さいますようお願い申し上げます。

平成18年11月18日

壱岐島への産廃持ち込みに反対する住民連合



共同代表 東谷 伸  
末永 健次  
久保 恵子  
音嶋 正吾  
榊原 伸

産業廃棄物の島内持ち込みに反対する署名簿

音嶋 正吾 議員



ターゲットとするが、併せて職員削減計画も実施すべき。

Q 市長の政治姿勢

①島内の燃料費を下げるとの公約であったが、六月定例会以降の具体的取り組みは。また、その秘策は。

A 長田市長

①農協、漁協、石油商業組合等、各関係団体との協議が大前提であり、話し合いがつくよう今後も努力する。ガソリン税等の特例法制定については国の政策であるので無理。②市職員数は平成十八年十二月一日現在、合併から十九名減った。同規模の市より二十一名少ない。平成十七年度〜二十一年度までの削減目標は三十

四名。今後、さらに高い削減目標を掲げ、総人件費抑制を目指す。

Q 産廃持ち込み禁止条例

産業廃棄物を島外から持ち込む動きがあるが、本市の死活問題である。市民の総意ともいえるべき。二万三千名の署名が提出された。許認可権は県知事にあるが、県は市の意向を尊重すること。島外からの持ち込み禁止条例の制定を。

A 長田市長

島外からの持ち込みは絶対反対。条例制定は上位法優先ということもあり、法等よく精査し、抵触しないよう、県等と慎重に協議して対応する。

久間 初子 議員



Q 団塊の世代対策

①六月定例会後の取り組みは。②全国へのホームページでの呼び込みの内容とその後の経過は。③遊休地の場所・面積、転売可能な場所の提示を。④島外からの団塊世代を受け入れるために、賃貸住宅を早急に建設すべき。

A 長田市長

①県の事業に参画している。②二十五件の相談があった。若い家族二世帯四名がイターン者として在住。

③市有地の遊休地はあるが、適地かどうかということもある。色々な問題が出てくるので売買は提示していない。④場所の問題等を検討している。

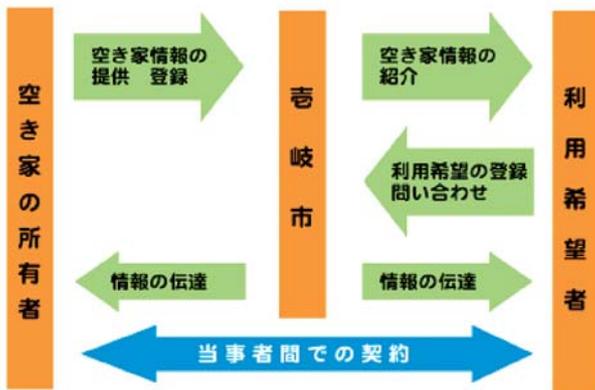
Q 給食センター建設

①築四十数年が経過している郷ノ浦町学校給食センター建設計画の規模・内容は。

A 須藤教育長

①二千食程度提供できる規模。面積等、詳細は確定していない。②民間企業の育成ということは承知しているが、保護者の負担軽減も図っていく。

【「空き家情報バンク」のイメージ】



空き家情報

(壱岐市ホームページ アドレス <http://www.city.iki.nagasaki.jp>)

**中村出征雄 議員**



**Q 地域審議会と分庁方式**

①地域審議会は、合併により住民と行政の距離が遠くならないように、地域の実情に応じた施策を展開するため、合併特例法に基づき設置されたが、その目的は十分活かされ

ているか。年二回以上開催となっているが、何回開催したか。

②一月実施の分庁方式について、住民の不安は。

**A 長田市長**

①合併後事務事業の調整もほとんど完了し、旧町の垣根も徐々に取り外されて、今回の分庁方式は審議会への諮問事項などいと認識している。今までに二回開催。

②市民がスムーズに本庁、支所を活用できるように配置図及び電話等の案内を市報十二月号に掲載、さらにチラシを各戸へ配布し、周知徹底を図る。

**Q 支所長権限拡大**

①最近市民より、「合併して住民サービスが低下した」と耳に

する。住民の要望に迅速に対応できるように、支所に今以上の権限と予算の裏付けを。

②最小の経費で最大の効果を上げるため、原材料費等の予算を充実し、市民の協力(奉仕)を得ながら、市民の要望に応えるべき。

**A 長田市長**

①厳しい財政の中、公平・公正な視点で均衡ある発展のために現状体制下でこれまで以上に支所窓口業務の充実を図り、市民の要望に迅速かつ適正に対処する。

②維持補修は十分な予算措置ができていないので、今以上に新規単独道路を抑制し、原材料を支給する。

**鵜瀬 和博 議員**



**Q 病(後)児保育の実施**

吉岐でも核家族化の進行等家庭内環境が変化し、共働きやパートの増加、就労形態の多様化により、さらに保護者の就労環境が厳しさを増している。

子育てと就労の両立への支援のため、病(後)児保育の実施を。

①平成十六年六月の一般質問後の検討結果は。

②集中改革プランでも「民間への業務委託、民間活力の活用」とされているが、この事業を民間が実施するとき、委託支援は。

**A 長田市長**

①市民病院の場合、病院施設の増築、医師・財源の確保等の課題があり、現況では厳しいが、今後病院事業運営審議会で審議する。

②「民間でできるものは民間で」という方針を持っており、医師会等との調整が可能なら当然バックアップする。

**A 須藤教育長**

①原の辻周辺は道路工事や遺跡復元整備工事の完成に合わせて無電柱化を計画。それ以外は市の経費負担があり厳しいが、ガードレール、標識、看板等のデザインや材質規格の統一等を現在、協議中。

**Q 景観保護条例制定**

自然環境を始め、すばらしい吉岐の素材や資源を保護育成し、後世に残していくために、早急に条例制定を。

①平成十六年九月の一般質問後の検討結果は。

②窓口を一つとしたまちづくり推進室の設置を。

**A 長田市長**

②自然景観を後世に残すことは使命である。今後、条例制定に向け、他の例を参考にまちづくりの全庁的なプロジェクトチームを立ち上げ積極的に取り組む。



地域審議会 (12月21日 勝本支所)



拡張工事が進む県道 (原の辻展示館付近)

# 追跡

## あん質問な どえんなった？

### 質問

平成18年9月定例会

#### 市民病院の経営改善を

市民病院存続のため、今後の経営改善方策と経営改善委員会における対策の検討と改善状況は。



#### 市長／経営改善委員会を設置、開催

経営改善のため、経営形態の変更を検討すべきだが、市民病院自らが改革していくことが重要。

院内に経営改善委員会を設置し、全職員が経営改善に参画して取り組むよう努力する。

①診療点数②病棟再編③精神病棟④未収金対策⑤広報部会の各ワーキンググループにより討議、経営改善委員会で報告し、討議を重ねている。



#### 病院事業運営審議会を設置、開催

さらに、11名の委員からなる病院事業運営審議会を設置し、市民病院の役割、経営の問題と対策、経営形態等を討議中。



病院事業運営審議会（12月2日 市民病院）

### 質問

平成18年9月定例会

#### 抜本的な機構改革を早急に

郷ノ浦支所を本庁舎にして、4支所体制を廃止し、分庁方式を行うべき。



#### 市長／分庁方式を研究中

住民サービスが低下しないよう、窓口を充実させ、4支所にそれぞれの部門を置く「分庁方式」で効率的な運営をしたい。



#### H19年1月1日、分庁方式施行

11月20日の臨時会において本庁舎と福祉事務所を現郷ノ浦支所に変更する条例を議決。

現在の6拠点の施設から、4支所施設を有効に活用するため、他の庁舎に本庁機能を部分的に置く「分庁方式」を採用、施行に向け準備中。



各庁舎案内板

# 決議と報告

## 吉崎市における廃棄物処理に関する決議

### 守ろう！自然、考えよう！ゴミ処理

○提出者 吉崎市議会議員 近藤 団一

○賛成者 吉崎市議会議員 中田 恭一  
同 上 赤木 英機

#### (決議文)

吉崎市における廃棄物の処理に関しては、島内処理を基本としながらも、循環型社会の構築、及び関係法令に準拠した適正処理を行うために一部を島外に搬出し、その処理を委託している。

適正処理の推進は、「島」という自然環境を保護し、島民の生活環境を保全していくために必要不可欠であり、行政及び議会に課せられた当然の責務であると考え、従って一般廃棄物、産業廃棄物を問わず廃棄物の発生を抑制し、減量化、資源化に尚一層努めるとともに、諸施策の充実と推進を図らなければならない。

尚、島外の産業廃棄物の処理を目的とする施設等の建設については、吉岐市民の総意として、これを受け入れないものとする。

以上決議する。



守ろう！吉岐

## 吉崎市議会議員の定数に関する調査報告

### 次回一般選挙から議員定数 22 人で提案か？

議会運営委員会において、市議会議員の適正定数について先進地視察等を実施し、調査を進めてきた。その結果について議会運営委員長から報告がなされた。



みんなで支えよう！

#### (報告内容)

○市における行財政改革の推進や議会に対する市民の意向を考えると、行政への批判・監視といった、議会の果たすべき役割や住民サービスの低下を生じることのない範囲において、議員定数削減は避けては通れない課題である。

○人口3万人規模の全国61市の議員定数（H17年12月現在）は最大26人、最低15人、平均21.5人である。また、定数を22人とした市が13市と最も多く、市の実情や常任委員会等を考慮し、これらを参考とすべき。

○次の一般選挙から議員定数を22人とすることで協議を進め、できれば平成19年3月定例会にて関係条例案の提出をしたい。

# 一支国博物館(仮称)建設等に関する 調査特別委員会中間報告

## 見えてきた 基本設計

一支国博物館(仮称)建設等に関する調査特別委員会は、長崎歴史文化博物館や長崎さるく博等の視察を含め、7回開催し、業者および県文化施設整備室との論議を重ねてきた。その結果について委員長から報告がなされた。

### (報告内容)

- 県・市との間で、(株)黒川紀章建築都市設計事務所・(株)丹青社・(株)乃村工藝社の3社グループにより、建築設計・展示設計・管理運営について入札がなされた。
- 建築設計については、主に以下の点を論議中。
  - ①屋上部分の芝生化。
  - ②窓ガラスの清掃。
  - ③交通アクセス。
  - ④地元の鶴亀触の名称を、形状の中に取り入れる。
  - ⑤開館時期は秋ではなく、春にできないか。
- 展示設計については、地元の物産等を販売するスペースや地元の食材を利用した食事ができないか等、一部管理運営に関することまでも含めて審議中。
- 管理運営については、建築・展示の2形態が決定した後でないと、はっきりと結論めいた論議ができないので、今後は建築設計・展示設計の論議をさらに深めるとともに、早急に管理運営部門の論議をしたい。また、業者側から最低10万人の来場者があると、自信を持って明言された。



県立埋蔵文化財センター・市立一支国博物館(仮称)完成予想図

# 委員会レポート



## 総務文教常任委員会

### 行政視察報告

平成十八年十月十七日～十九日

#### 兵庫県南あわじ市

平成十七年一月、合併と同時に防災対策特別委員会を設置し、防災対策が取り組まれていた。

各庁舎に非常用電源を、市内各所に津波高表示看板や避難経路表示看板を設置するほか、民間企業との災害時応援協定の締結やCATVネットワークの活用等多方面の整備がされている。さらに、各自治会の自主防災組織立ち上げに向けた取り組みにも力を入れてあり、特に海抜一以下の地区では建物構造別現況や高齢化の状況、災害時要援護者の状況を調査し、実態を把握されている。

また、全国で初めての制度となる兵庫県住宅再建共済制度を創設し、全ての自然災害に対応。

今後の方針として、さらなる自主防災組織の育成・強化及び市の危機管理体制の強化を目指して、市民自らの意識改革に努め、防災意識の高揚対策が行われている。

壱岐市においても、今後の予期せぬ災害を未然に防止し、市民が安心して暮らせるよう現行施策の再点検を行い、綿



南あわじ市



第20回全国消防操法大会

密な防災対策の早期確立が必要と考える。また、自主防災意識の高揚と市民による組織の立ち上げ・育成強化も大いに望まれる。

### 第二十回全国消防操法大会

本年は阪神・淡路大震災から十年を経過したことから、初めて首都圏を離れ兵庫県広域防災センターで開催された。

大会の結果、ポンプ車操法の部に長崎県代表として出場した壱岐市消防団若辺地区第一分団は、見事八位入賞で優良賞を受賞。

出場された選手を始め、ご家族及び関係者の皆様に対し、心から敬意を表します。

## 厚生常任委員会

### 行政視察報告

平成十八年十一月十三日～十五日

#### 大分県中津市民病院

中津市は大分県の西北端に位置し、平成十七年三月に四町村が合併、人口約八万六千人の市となった。

赤字続きのため国の再編成計画で廃止対象だった「国立中津病院」を市が受け継ぎ、平成十二年七月、「中津市立中津市民病院」として再出発した。国からの移譲にあたり、小児や救急医療に力を入れた結果、住民からの評判も良く、他の施設からの紹介率も増え、毎年着実に利益を上げ、黒字経営を続けている。移譲後は各種の制度加算に取り組み、医業収益の増収等の経営努力がなされている。

壱岐市においても、市民病院のあるべき姿を再検討し、絶対に削ってはならない部分と削ぎ取れる部分を見極め、経営の改善を早急に進める必要があると思われる。

(一般廃棄物最終処分場)

佐世保市

#### 佐々クリンセンター

(一般廃棄物焼却施設)  
一 一般廃棄物処理施設(し尿処理・最終処分・焼却)については、どれも地域の環境に配慮された施設となっていた。

壱岐市においても、地元の理解と協力を得て処理施設の建設が進められている。リサイクル事業の推進等により、一般廃棄物の減量化をさらに進められるとともに、多額の建設費用が見込まれるため施設の規模については十分検討されたい。



中津市民病院



### 大分県 日田環境衛生センター (し尿処理施設)

#### 熊本県

#### 八代生活環境事務組合

# 先進地から学ぶ

## 産業建設常任委員会

### 行政視察報告

平成十八年十月三十日～十一月一日

#### 山口県周南市

##### (漁業後継者対策への取組)

漁業者の減少・高齢化が進行する中、漁業就業者の確保・定着対策として、県や漁協等関係団体と一体となり、新規就業者の募集・研修から就業まで、一貫した支援体制を全国に先駆けて実施されている山口県周南市を研修した。

具体的には、①漁業技術研修制度の導入(漁種別)

②研修期間中の支援費(月十五万円)の支給

③着業時の生産基盤整備(漁船リース)の負担軽減

④住宅確保支援制度充実

⑤休漁時の漁外収入紹介  
となっている。また、着業時には五百万円程度の自己資金が必要であり、研修前に確認・指導をしている。

彦根市においては漁場の再生も大事な問題であり、後継者対策は島外からの就業者も含め、今以上の取組が必要と感じられた。

#### 島根県津和野町

##### (集落営農への取組)

農業従事者の六割が六十五歳以上と高齢化が進むにつれ、集落そのものが崩壊の危機となることから、「島根県農業振興対策事業」に早くから実施されている「農事組合法人おぐの村」を研修した。

この地区は昭和五十九年より圃場整備に着手、償還計画等もあり、翌年より集落営農計画を作成し、集落内とも補償制度・集落転作・機械共同利用・作業受託を実施。平成九年に特定農業法人を設立し、経営合理化により生産コストの削減を実施している。

彦根市においても基幹産業の振興は重要であり、後継者不足、流通生産コストの削減と問題がある中、可能な範囲で支援をし、維持向上を目指すため、今後参考になりたい。



おぐの村



周南市

## 市民の声

このコーナーでは、市民のみならずから議会に寄せられたご意見等についてご紹介します。

### voice 「市立図書館にも申す」

芦辺町女性

私は市立図書館をよく利用していますが、本の予約に制約があったり、貸出期間が短いなど、芦辺・勝本の人は利用しにくいです。

石田図書館の人員配置は図書検索システムがあり、一人で妥当ですが、郷ノ浦は同システムが無いにしても三人は多すぎます。

彦根も不景気で、苦しい中で生活している私たち市民にとっては、必要のないところで無駄な税金の使われ方がされている感じがして、やりきれない気持ちです。

公共施設は市民のための施設です。暇な部署は人員を削るなどして市民の血税が無駄に使われることのないように、もっと市民の立場に立って市民にとって利用しやすく、より良い図書館となるように改善を求めます。



# 壱岐の未来のために...



## 一 議会傍聴のご案内

壱岐市議会は市民みなさまのお越しをお待ちしています。  
(次の議会は3月上旬の予定です。)

○また、「いき議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。  
(ご意見等を、いき議会だよりにて紹介させて頂く場合があります。)

## 会議録をホームページで公開!

お知らせ

壱岐市議会の会議録が、壱岐市ホームページ (<http://www.city.iki.nagasaki.jp>) で閲覧できます。

また、会議録は壱岐市役所本庁(総務課)、各支所(市民生活課)にも備え付けていますので、ご利用ください。

ご不明な点は、議会事務局(☎42-1111)までお問い合わせください。

発行責任者/壱岐市議会議長 編集/議会広報特別委員会  
〒811-5521 長崎県壱岐市勝本町西戸触182-5  
TEL 0920・42・1111  
FAX 0920・42・0066

発行日/平成19年2月16日  
●メールアドレス [skkai@city.iki.nagasaki.jp](mailto:skkai@city.iki.nagasaki.jp)  
●いき議会だよりは壱岐市ホームページにも掲載しております。  
●ホームページアドレス <http://www.city.iki.nagasaki.jp>



華やかな新成人(1月7日 文化ホール)

## 編集後記

生まれた命、奪われた命、絶たれた命、そして膨らむ命の不安。「一つしかない命の大切さを痛感させられた一年だったから」との理由で、二〇〇六年「今年の漢字」に『命』が選ばれました。これまでの「今年の漢字」を並べてみると、「震」「食」「倒」「毒」「末」「金」「戦」「帰」「虎」「災」「愛」です。これらの漢字で思い出すのは、痛ましい事件や大きな衝撃を受けた災害や事故ばかり。この十年、あまり良い時代ではなかったということでしょうか。

さてさて壱岐の二〇〇六年「今年の漢字」を選ぶなら、あなたはどの一字を選びますか。二〇〇七年の漢字が明るい一字になるよう、頑張っていきたいものです。

町田 光浩



この議会だよりは、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。